

IHE認定技術者制度 ～認定技術者の役割～

日本IHE協会 認定技術者試験委員会
島西 聡

agenda

- 認定技術者試験開始から5年
- 認定技術者の役割
- 認定技術者になるためには
- 認定技術者になってから

認定技術者試験開始から5年

ドメイン	合格者数
放射線(RAD)	15
循環器(CARD)	8
臨床検査(LABO)	9
病理(Path)	9
患者ケアデバイス(PCD)	10
ITインフラストラクチャ(ITI)	9
内視鏡(ENDO) New	3

- 受験者数: 54名／5年
– もっと多くの方に受験して頂きたいと思っています。
- 既に7ドメインに合格されている方: **2名**



認定技術者の役割

- IHE普及のための人材育成
 - IHEが採用している規格(DICOM,HL7他)の概要を理解し、規格の融合範囲が説明できる
 - それぞれのドメインが規程していることを理解し、他人に説明することができる
 - IHEを医療現場で活用することを提案・構築・運用することができる
 - (ユーザー人材として)コネクタソン審査を行うことができる

認定技術者の役割

- 認定技術者としての知識
 - 分野別にIHE認定技術者として知っておいてほしい知識をまとめた「到達目標」を設定している
 - <https://www.ihe-j.org/QUALIFY/>
 - 到達目標には、項目と重要度(3段階)が記載されている
 - ・ 重要度A:十分に理解すべき項目(説明できるレベル)
 - ・ 重要度B:内容を知っている項目(理解しているレベル)
 - ・ 重要度C:その他・補足事項

認定技術者になるためには

● 知識を身に着ける

● 養成セミナーの受講

- 2024年度は、**オンデマンド配信**で計画中。
 - オンデマンド配信なので、配信期間中は何度でも講座を聴講することができる
- 配信期間：
 - 2024/9/1～2024/9/30まで（1カ月間）
- 受講申し込み方法
 - 日本IHE協会Homepage上に受講申込みページを掲載します
- 参加費用：3,000円(税込)

認定技術者になるためには

- 認定試験を受験する
 - 試験実施日時
 - ・ 2024年11月16日(土) 13:00–17:20
 - 試験会場(東京:全国家電会館)
 - ・ <https://www.jeass.or.jp/map.html>
 - 申込方法
 - ・ 日本IHE協会Homepageより申し込む
 - ・ URLは9月ころ公開予定
 - 受験料
 - ・ 10,000円(PayPalを利用した支払い)
 - 受験資格
 - ・ 問わない

認定技術者になるためには

● 試験科目

● IHE BASIC (2022年度、2023年度認定技術者は免除)

- ・ 試験時間: 60分

- IHE基本知識 (30問)
- DICOM基本知識 (5問)
- HL7基本知識 (5問)

● IHE分野(ドメイン)別試験(2分野まで選択可)

- ・ 試験時間: 60分／1分野(2分野受験時は120分)

- 放射線分野(RAD) (30問)
- 循環器分野(CARD) (30問)
- 臨床検査分野(LABO) (30問)
- 病理分野(Path) (30問)
- 情報技術インフラストラクチャ分野(ITI) (30問)
- 患者ケアデバイス分野(PCD) (30問)
- 内視鏡分野(ENDO) (30問)

認定技術者になるためには

● 認定内容

● IHE-BASICに合格し、かつドメイン別試験に合格した場合

- ドメイン別認定技術者として登録される。

– 例

» CARD、ENDOに合格した場合

- CARD認定技術者
- ENDO認定技術者

- IHE-BASICのみ合格した場合

– IHE-BASIC認定技術者

認定技術者になってから

- IHEを医療現場で活用することを提案・構築・運用を推進してください。
- それぞれのドメインが規程していることを、様々な場面で説明してください。
- IHE協会の各種委員会の委員としてIHEを推進することを手伝ってください。
- (ユーザー人材として)必要に応じて、コネクタソン審査を手伝ってください。

ご参加ありがとうございました。

ご質問は、
日本IHE協会ホームページ または、
アンケート用紙にてお願いします。